

## 宮古島市「夏のエコフェス 2019」(実施報告書)

開催日時	9月12日 13:30-17:30
場所	未来創造センター 研修室 (沖縄県宮古島市平良東仲宗根 807)
参加者	40名 (内応用物理会員 20名)
実施組織	エネルギーシステム研究会

### 開催目的

我が国の持続可能なエネルギーシステム構築を担う次世代(高校生)に対して、環境意識醸成および課題を解決しうる技術に関する理解を高める。

### 開催内容

- 招聘した専門家による講演
  1. 植物が行っている「光合成」を人工的に行うアプローチ：鈴木登美子氏(豊田中研)
  2. 太陽の力を利用する「太陽電池」の役割：伊藤省吾氏(兵庫県立大)
  3. EV デロリアンが描く未来 ～エコライフを楽しむ～：藤井智康氏(日本EVクラブ)
- 高校生グループによるショートプレゼン・ポスター発表(7件)
- 専門家・高校生・会場の一般市民を交えたディスカッション
- 環境エネルギー体験・動画放映コーナー(常設、7件)

### 開催結果(成果)

高校生による研究発表会を実施し、優秀賞には本助成金で購入した賞品を授与した。また高校生へのセミナーとして、夏のセミナー参加者による講演に加えて、今回初めて研究者以外のエネルギー・環境に関する活動を行っている方(藤井智康氏)を招き講演を行った。発表会では専門家の高度な質問・助言を受けた高校生たちから、良い刺激になったというフィードバックを得られた。専門家等による講演も様々な視点で演示実験も交えて行われ、高校生・一般市民からも驚きの声や拍手が自然と起こった。このように本助成金の支援によって昨年度ではできなかった取り組みが可能となり、地元高校生や一般市民への教育効果も大きかったと考えられる。

